

12歳教育推進事業が高評価

「ぼうさい大賞」受賞



災害に強いまちづくり、仕組みづくりをめざして取り組んでいる12歳教育推進事業が、防災教育に関する優れた取り組み事例としてぼうさい甲子園で小学生部門の「ぼうさい大賞」を受賞し、1月9日に代表児童や関係者67人が兵庫県公館での表彰式に出席しました。

ぼうさい甲子園（主催・毎日新聞社、兵庫県、ひょうご震災記念21世紀研究機構）は、阪神・淡路大震災の経験を通して学んだ自然の脅威や生命の尊さ、共に生きることの大切さを考える「防災教育」を推進するもので、児童・生徒、学生が学校や地域において主体的に取り組む先進的な防災教育活動が顕彰されています。



▲表彰状を受け取る大西清楓さん（多賀小学校）と児玉桐梧君（神戸小学校）



▲取り組み内容を堂々と発表する代表児童たち

12歳教育推進事業とは

小学校の最高学年であり、人生の節目の一つである小学校6年生の時期に、防災を切り口にさまざまな体験を通して自ら考え行動することのできる力を養い、将来の西条市を担う若者の育成を目的とするものです。

子どもたちは、1年間の活動を通じて防災の知識や技能を身につけ、自らが実践できる防災対策を提案することによって、確かな社会性とたくましさ身に付けています。

この取り組みは、昨年国連が発刊した世界14カ国の防災に対する実践と教育の事例集「地方政府と災害リスクの軽減」でも大きく取り上げられ、広く世界へ紹介されています。

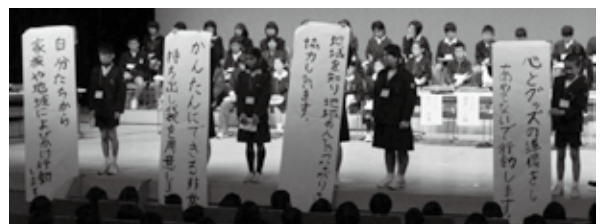
平成22年度の活動

- 7月29日 第1回サミット
参加した動機や各校での防災教育を発表。
- 8月11～12日 防災キャンプ
1泊2日の体験活動。
- 12月16日 第2回サミット
各校でまとめた防災に対する提案を発表。
- 2月10日 第3回サミット
「知っている」から「している」防災活動へ向けて、平成22年度サミット宣言を採択予定。

平成21年度サミット宣言

- 1 心とグッズの準備をし、あわてないで行動します。
- 1 地域を知り地域の人とのつながりを深め協力しあいます。
- 1 かんたんにできる非常持ち出し袋を用意します。
- 1 自分たちから家族や地域によびかけ行動します。

2010年2月10日 西条市子ども防災サミット



▲昨年のサミット宣言採択の様子

第3回子ども防災サミット 一子どもたちが12歳教育で学んだことを発表しますー

日時：2月10日(木) 13時30分～ 場所：総合文化会館 問合せ：学校教育課 TEL0897-52-1640